

平成30年6月、改正食品衛生法が公布され、食品事業関係者にHACCPの導入が義務付けられます。当協会は、HACCP導入支援を行っています。

このシリーズでは、当協会が支援した事業者の声を紹介し、食品衛生管理の重要性を伝えていきます。

続・一歩先ゆく 衛生管理 HACCP チャレンジ事業



株式会社 やまだ屋

登録日:2017年3月11日 所在地:廿日市市宮島町 創業:昭和7年10月 話し手:代表取締役社長 中村 靖富満

業務内容

もみじ饅頭を中心とした和菓子のほか、洋菓子と和菓子を組み合わせたブランド「RAKU山田屋」で焼き菓子などの製造販売をしています。

また、今年からおおのファクトリーの隣に茶室と、もみじ饅頭の手焼き体験室を設置しました。工場見学や手焼き体験などもお楽しみいただけます。

ニーズ変化にいち早く対応

お菓子の安心・安全を見える化

みただけです。

HACCPチャレンジのきっかけと取り組み

お客様のニーズの変化にいち早く答えようと考えたからです。昔は、「甘くて柔らかい」お土産菓子が好まれて

いましたが、大手お菓子メーカーの偽装問題などをきっかけに、お菓子も「安心・安全が求められるようになりま

み、継続しています。衛生管理のこだわりポイント ルールを定めて適切に履行することで、安心・安全な商品をお届けしています。

し、お客様に選んでいただけてお菓子として、安心・安全を見える化するために「広島県食品自主衛生管理認定(平成19年) HACCPチャレンジ(平成27年)」に取り組

には、品質管理室を設置し、自社で検査を行う体制をとっています。消費者の皆さまへもみじ饅頭は、観光土産という視点で、リーズナブルに多くの方に、RAKU山田屋の



茶室と手焼き体験室の入る建屋

焼き菓子は、こだわりの素材で特別な時に特別な方への贈答品として楽しんでいただけたら、異なるアプローチで安心・安全なお菓子づくりをしています。手焼き体験も年間5万人を超える方に楽しんでいただいています。これからも皆さまに楽しんでいただける商品を作り続けていきます。

インタビュー:高橋 記事:馬場田

令和2年度末に処理期限

昭和52年以前の建物は再確認を PCB器具

昔、事業所や工場を営んでおり、現在は倉庫として使っている、使っていないが建物が残っているという方はいらっしゃいませんか。古い照明が残ったままの場合は今一度ご確認ください。

「PCBを使用した照明器具の安定器」は、令和3年(2021年)3月31日までにすべて廃棄処分することが、法律で決められています。適正に廃棄処分を行わないと次のリスクを負うことになります。

- ①処分できなくなる
②改善命令・罰則の対象となる
③健康被害が出るおそれがある

PCBは、化学的に安定性を持つ一方、人体に有害で、環境中に残留する物質です。

私たちの身近なところでは、蛍光灯や水銀灯、ナトリウム灯などのちらつきを抑える安定器に利用されてきました。

PCBを使用した照明器具の安定器は、国内メーカーでは、昭和32年1月から昭和47年8月まで製造されていました。昭和51年(1977年)3月以前に建築された工場やビルなどの事業建物では、照明器具にPCBを使用した安定器が

照明器具の例



使われている可能性があります。

広島県では、古い建物を所有している事業者の方などを対象にPCBを使用した安定器を所有されていないか調査を進めています。対象の事業者の方へ調査票の送付など実施していますので、必ずご回答いただきますようお願いいたします。

(広島県 産業廃棄物対策課)

【問い合わせ先】

広島県 産業廃棄物対策課 Tel: 082-513-2963

広島県 PCB調査

検索

道路の安全性を確保

アスファルト試験で日常生活を守る

アスファルトの性状を調べる抽出試験機(上)、わだちについて調べるホイールトラック試験機(下)



⑥アスファルトに分かれており、多種多様な試験を実施しています。

今回は、⑥アスファルト試験の中でも、私たちの生活に欠かせない「道路」に関して紹介いたします。

アスファルト舗装で問題となるのは、「わだち掘れ」と呼ばれる車両が通過するときに起こる線状のくぼみや、温度差などによる「ひび割れ」などがあります。

これらは現場の条件にもよりますが、アスファルトの量や骨材の配合によって大きく影響を受けるため、適正な配合や品質管理が課題となります。

材料試験室では、アスファルト混合物のアスファルト量や骨材の

「アスファルト混合物事前審査制度」に活用されます。当協会は、この制度の指定試験機関となっております。島根県内のアスファルト業者を対象に上記の試験を行っています。

道路には次の3つの機能があります。歩行者、自動車などが通行するトラフィック機能、食料品や日用品などを運搬し、生活基盤の充実を図るアクセス機能、道路の地下に電気、ガス、水道などのライフラインの設置や災害時における延焼の拡大防止、避難経路などの空間機能があります。

昨年の西日本豪雨災害では、各地で道路が寸断され、多くの人が日常生活に支障が生じたことは記憶に残っていると思います。

材料試験室では、このように品質の高いアスファルト混合物を作るための基礎データを提供し、道路の安全性確保に貢献しています。(材料試験室 世波宏之)

環境協の環境生活センター

12 材料試験室